



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月30日

上場会社名 石井食品株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2894 URL <https://www.ishiifood.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 石井 智康  
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室 (氏名) 石井 隆 TEL 047 (774) 8748  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	7,161	7.2	84	△25.5	105	△15.7	87	19.4
2022年3月期第3四半期	6,682	6.5	113	—	124	—	72	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 182百万円 (187.0%) 2022年3月期第3四半期 63百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	5.16	—
2022年3月期第3四半期	4.32	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	7,014	2,689	38.3
2022年3月期	6,035	2,557	42.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 2,689百万円 2022年3月期 2,557百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2023年1月30日）公表いたしました「配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,252	4.8	△93	—	△66	—	△105	—	△6.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	18,392,000株	2022年3月期	18,392,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,514,997株	2022年3月期	1,514,996株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	16,877,003株	2022年3月期3Q	16,877,004株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響は長期化しているものの、経済活動は徐々に再開され、景気は緩やかに持ち直しの動きがみられました。しかしながら、長引くロシアによるウクライナ侵攻や、急激な円安の進行により先行き不透明な状況は依然として続いており、食品業界においては、原材料価格やエネルギー価格の高騰などが一層進行し、非常に厳しい経営環境となっております。

このような環境のもと、全社横断プロジェクトによるコスト削減活動を実施し収益改善に取り組み、生産効率化、原材料調達、物流最適化等の各テーマで抜本的な見直しを進めてまいりました。しかしながら、急激な製造コストの上昇を企業努力だけでは吸収することが難しく、商品価値をさらに高める投資や持続可能な活動を行っていくため、2022年10月1日に一部商品の価格改定を実施いたしました。

価格改定後は、カレーミートボール20周年施策や、季節や時機に合わせた営業活動を展開したほか、これまで買いかけてくださったお客様に対するコミュニケーション施策を徹底いたしました。さらに、無添加調理や厳選素材、食に対する安心安全といった当社が今まで積み重ねてきた価値訴求を改めて行ったことにより、価格改定後も根強いファンに支えられ、主力商品であるミートボール、とりそぼろ等食肉加工品が前年同期比108.2%の売上高となりました。3年ぶりに行動制限のない年末年始となり正月料理の売上高は減少したものの、年末年始のライフスタイルの多様化が進み、個食タイプのお重おせちや地域商品である雑煮つゆは堅調に推移しました。また、非常食、配慮食についても、販路拡大等により売上高が増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は71億61百万円（前年同期比4億79百万円増）となりましたが、売上原価が49億53百万円（前年同期比4億88百万円増）となり、売上総利益は22億8百万円（前年同期比8百万円減）となりました。販売費及び一般管理費は21億23百万円（前年同期比19百万円増）となり、84百万円の営業利益（前年同期比28百万円減）となりました。また、経常利益は1億5百万円（前年同期比19百万円減）となり、これに2022年9月に発生した当社工場の火災に係る受取保険金及び災害による損失を含めた特別利益と、特別損失及び法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は87百万円（前年同期比14百万円増）となりました。

製品別業績の概況は、次のとおりであります。

(単位：千円)

製品別売上高	前第3四半期連結累計期間 (2021.4.1～2021.12.31)		当第3四半期連結累計期間 (2022.4.1～2022.12.31)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
		%		%		%
食肉加工品 (ハンバーグ・ミートボール他)	5,503,437	82.4	5,957,338	83.2	453,901	108.2
惣菜	499,124	7.5	482,923	6.7	△16,200	96.8
正月料理	307,957	4.6	299,541	4.2	△8,416	97.3
地域商品	216,368	3.2	226,754	3.2	10,385	104.8
非常食	101,758	1.5	132,268	1.8	30,509	130.0
配慮食(食物アレルギー・減塩他)	26,202	0.4	36,776	0.5	10,574	140.4
その他	28,048	0.4	26,386	0.4	△1,661	94.1
合計	6,682,897	100.0	7,161,989	100.0	479,091	107.2

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は70億14百万円（前連結会計年度末比9億78百万円増）となりました。主な要因は、現金及び預金の増加1億36百万円、売掛金の増加5億63百万円、無形固定資産の増加1億0百万円、投資有価証券の増加84百万円であります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は43億24百万円（前連結会計年度末比8億46百万円増）となりました。主な要因は、買掛金の増加3億68百万円、短期借入金の増加2億円、未払費用の増加2億92百万円、賞与引当金の減少82百万円であります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は26億89百万円(前連結会計年度末比1億32百万円増)となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上87百万円、配当金の支払50百万円、その他有価証券評価差額金の増加57百万円であります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は21億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億36百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は2億45百万円(前年同期は2億23百万円の増加)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上、減価償却費の計上、売上債権の増加、仕入債務の増加、棚卸資産の増加であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は2億39百万円(前年同期は1億79百万円の減少)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出、無形固定資産の取得による支出であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は1億30百万円(前年同期は4億28百万円の減少)となりました。主な要因は、短期借入れによる収入、短期借入金の返済による支出、配当金の支払額であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,023,414	2,160,066
売掛金	1,270,978	1,834,041
商品及び製品	70,418	117,994
仕掛品	12,147	8,355
原材料及び貯蔵品	147,738	192,604
その他	49,020	45,052
流動資産合計	3,573,717	4,358,113
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	499,971	483,093
機械装置及び運搬具(純額)	340,159	365,745
工具、器具及び備品(純額)	32,901	27,141
土地	810,746	809,084
リース資産(純額)	34,966	20,762
建設仮勘定	—	23,925
有形固定資産合計	1,718,745	1,729,752
無形固定資産	252,132	353,083
投資その他の資産		
投資有価証券	454,858	539,072
その他	82,665	81,076
貸倒引当金	△46,780	△46,780
投資その他の資産合計	490,744	573,368
固定資産合計	2,461,623	2,656,205
資産合計	6,035,341	7,014,319
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	307,090	675,772
短期借入金	1,700,000	1,900,000
未払費用	564,037	856,074
未払法人税等	33,577	63,727
賞与引当金	82,212	—
その他	141,212	143,820
流動負債合計	2,828,130	3,639,393
固定負債		
リース債務	22,520	11,815
退職給付に係る負債	578,379	600,447
資産除去債務	22,966	22,984
繰延税金負債	23,257	48,390
その他	2,656	1,723
固定負債合計	649,780	685,360
負債合計	3,477,911	4,324,754

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	919,600	919,600
資本剰余金	672,801	672,801
利益剰余金	1,354,991	1,391,425
自己株式	△310,806	△310,806
株主資本合計	2,636,586	2,673,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,767	112,070
退職給付に係る調整累計額	△133,923	△95,525
その他の包括利益累計額合計	△79,156	16,544
純資産合計	2,557,430	2,689,564
負債純資産合計	6,035,341	7,014,319

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	6,682,897	7,161,989
売上原価	4,465,820	4,953,897
売上総利益	2,217,077	2,208,091
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	521,304	525,413
退職給付費用	41,528	55,649
支払手数料	254,942	267,627
運搬費	446,867	460,701
販売促進費	44,668	60,540
その他	794,308	753,578
販売費及び一般管理費合計	2,103,619	2,123,511
営業利益	113,457	84,579
営業外収益		
受取利息	12	7
受取配当金	4,447	6,482
廃油売却益	10,418	26,783
助成金収入	3,767	1,157
その他	7,061	8,046
営業外収益合計	25,707	42,478
営業外費用		
支払利息	6,767	6,069
棚卸資産廃棄損	7,096	14,295
その他	525	1,559
営業外費用合計	14,389	21,924
経常利益	124,775	105,133
特別利益		
固定資産売却益	—	9,078
受取保険金	—	49,729
特別利益合計	—	58,808
特別損失		
固定資産処分損	282	2,442
減損損失	11,999	3,076
災害による損失	—	16,551
特別損失合計	12,282	22,071
税金等調整前四半期純利益	112,493	141,870
法人税等	39,604	54,805
四半期純利益	72,888	87,064
親会社株主に帰属する四半期純利益	72,888	87,064



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	72,888	87,064
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△20,400	57,303
退職給付に係る調整額	11,184	38,397
その他の包括利益合計	△9,215	95,701
四半期包括利益	63,673	182,765
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,673	182,765
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	112,493	141,870
減価償却費	153,355	140,867
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△84,197	△82,212
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	17,928	60,466
受取利息及び受取配当金	△4,459	△6,490
支払利息	6,767	6,069
助成金収入	△3,767	△1,157
固定資産売却損益 (△は益)	—	△9,078
固定資産処分損益 (△は益)	282	2,442
減損損失	11,999	3,076
受取保険金	—	△49,729
災害による損失	—	16,551
売上債権の増減額 (△は増加)	△483,408	△563,062
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△34,390	△93,416
仕入債務の増減額 (△は減少)	386,109	368,681
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△2,485	△6,348
未払消費税等の増減額 (△は減少)	20,674	△13,556
その他	132,514	303,615
小計	229,415	218,588
利息及び配当金の受取額	10,933	12,721
利息の支払額	△6,749	△6,069
助成金の受取額	3,767	1,157
保険金の受取額	—	49,729
災害損失の支払額	—	△11,785
法人税等の還付額	1,707	1,715
法人税等の支払額	△15,082	△20,295
営業活動によるキャッシュ・フロー	223,991	245,761
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△1,723	△1,778
有形固定資産の売却による収入	—	11,542
有形固定資産の取得による支出	△94,802	△159,809
無形固定資産の取得による支出	△83,430	△91,417
その他	697	1,726
投資活動によるキャッシュ・フロー	△179,259	△239,736
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,700,000	1,900,000
短期借入金の返済による支出	△1,760,000	△1,700,000
社債の償還による支出	△300,000	—
リース債務の返済による支出	△17,442	△18,742
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△50,631	△50,631
財務活動によるキャッシュ・フロー	△428,073	130,625
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△383,341	136,651
現金及び現金同等物の期首残高	2,579,907	2,023,414
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,196,565	2,160,066

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。